



学年の折り返し点を過ぎました

日ごとに秋が深まっています。10月の折り返し点を過ぎ、各学年の学校生活も後半に差し掛かっています。どの学年の子どもも1学期に比べてたくましく、そして頼もしくなってきたと感じています。10月初めには6年生が広島・山口方面へ修学旅行に行きました。出発前に「学校生活で身に付けたことを発揮する機会にしてください」とお話ししましたが、とてもしっかりとした態度で、実りの多い旅行になりました。この後も、10月末には各学年で見学遠足を予定しています。また、11月に入ると今治市小中学校音楽会（5・6年）、学習発表会（全学年）、愛媛県陸上運動記録会（地区代表として5種目に出場）など、学んだことや身に付けたこと、取り組んできたことを発揮したり、発表したりする行事が予定されています。その際には、子どもたちの成長の様子をご覧いただければ幸いです。



修学旅行



移動動物園



陸上運動記録会

読書の秋を楽しもう（読書週間 10月27日から11月9日まで）

秋の夜長に読書はいかがですか。週末から第77回読書週間が始まります。日本は世界でも有数の「本を読む国」と言われるそうですが、ご承知のように近年はいろいろなメディアの普及などにより、子どもの読書離れが課題となっています。そんな中、本校の学校図書館では、昨年度1年間に6,244冊の本を貸し出しているそうです。児童一人当たりになると約77冊になります。なかなかがんばっているなと思います。今年度も9月末で3,100冊を超えているそうで、このペースでいくと学年末までに何冊になるのか、ちょっと楽しみです。

最近は図書館以外でも、店内にたくさんの本を置き、お客さんに自由に読んでもらえるようにしたカフェや宿など、本が読める施設が増えているようです。自分に合いそうな本を探して訪れる人も多いそうです。いろいろな分野の本を読んでみるのもいいし、興味のある特定の分野の本を読むのもいいと思います。自分の知らない世界を知ることができます。将来の進路に関わることが見付かることもあります。本の内容や登場人物を通して、豊かな心の成長にもつながるでしょう。インターネットは手軽で便利ですが、読

書はそれとは違ったものが得られます。「本は心の栄養」とも言われます。本校でも、児童の読書を推進しています。子どもたちの健全な心の成長のためにも、読書活動の推進は大切だと思います。



昼休みの学校図書館